

より使いやすく生まれ変わった 武蔵野市民文化会館に行ってみよう!

1984年に開館して以来、数多くの名コンサートや舞台芸術が繰り広げられ、文化と芸術のまちを盛り上げる拠点として親しまれてきた武蔵野市民文化会館。32年目の大改修によって、より多くの方にとって使いやすく、快適に生まれ変わった館内をご案内します。



新しく生まれ変わった館内をご案内します!



案内人

武蔵野市民文化会館
堀田真弓さん

市民文化会館改修工事にかかわる主な費用

項目	金額(消費税込)
基本設計・実施設計委託	1億5887万円
工事費 (建築・機械・電気・舞台機構・舞台照明・舞台音響)	40億9190万円
工事監理委託	9817万円
パイプオルガン耐震補強 オーバーホールおよび整音等委託	3644万円

今まで以上に快適で耐震性も強化した施設へ
大規模改修工事により昨年4月から休館していた武蔵野市民文化会館が、4月20日(木)、ついにリニューアルオープンしました。これまで30年以上にわたってオーケストラ、パイプオルガン、民族音楽などさまざまな音楽、バレエや伝統文化などの優れた舞台芸術を市民の皆さんにお

届けする場として、また、学校やアマチュア団体などの芸術文化活動の発表の場として親しまれてきた市民文化創造の拠点が、さらに多くの方に親しまれ、愛される施設を目指して再スタートしました。大小ホールの座席の拡張や防音対策、耐震性強化、エスカレーター設置、トイレの全面改修などにより、今まで以上に快適で利便性が高まった施設をご案内します。

エスカレーターとエレベーターも新設しました!





チケットカウンター

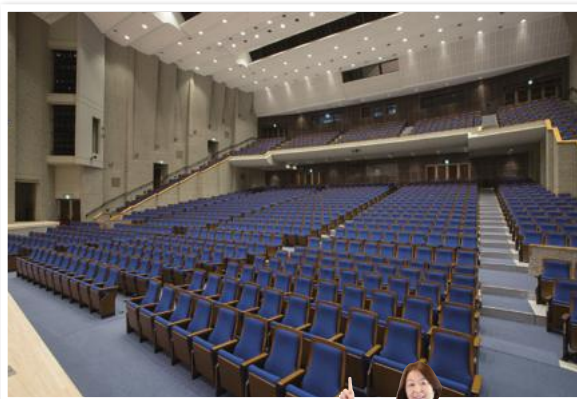
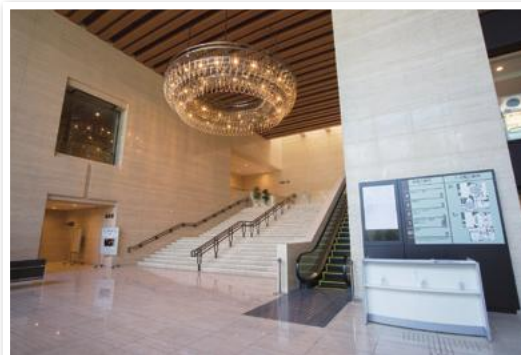
チケットカウンターのスペースが広がり、開放的な印象になりました。正面入口からもわかりやすくなりました。

オープンカウンターで
明るい雰囲気になりました！



エントランス

エスカレーターを新設したエントランス。シャンデリアはメンテナンスにより、より輝きがアップ！ 耐震性強化のため、天井も改修しました。



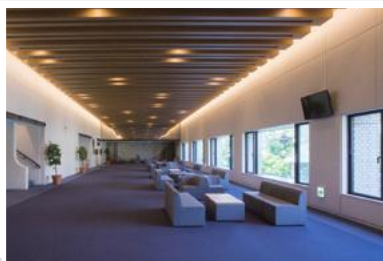
大ホール

大ホールの客席は、青を基調とした色調にリニューアル。客席幅が約 2 cm 広くなり、新しいシートでゆったりと鑑賞できるように。耐震性強化のため、エントランス・小ホールとともに天井も改修。照明は省エネにも配慮して LED 照明を採用しました。

客席幅が広がって
よりゆったり
鑑賞できそう！



ハワイエもリフレッシュ。大ホール入口からホール 2 階席への移動のために、エレベーターを設置しました。



耳の不自由な方のために、マイクなどの音声を赤外線で送信し、専用のヘッドホンなどで聞き取りやすくする難聴者支援設備を用意しました。

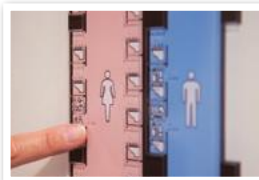


授乳室

個室の授乳室を 2 室設けました。広めの空間なので、きょうだいなどファミリーでの利用も可能です。

トイレ

男女トイレを全面改修。洋式トイレを増設し、温水洗浄便座にしました。長年の使用により劣化していた給排水設備も更新。より清潔で快適になりました。



目の不自由な方のため、点字案内も

トイレがきれい！
男女トイレにそれぞれ
オムツ替え台や
ベビーチェアが
あります



パイプオルガンを 「整音」しました

舞台中央のパイプオルガンはデンマークのオルガン製作会社「マルクーセン&ソン」によるもので、この会館がオープンした1984年当初より設置。今回のリニューアルに合わせて、オランダからやって来た技術者のディック・コーマンスさんと長山結さんが約1カ月半かけて整音しました。

左からディック・コーマンスさん、長山 結さん



“オルガンのづくり手のコンセプトを尊重しつつ、より自然でリラックスしたパイプの音色を目指しました”

—ディック・コーマンスさん

小ホール

これまでのイメージを継承し、赤を基調とした新しいシート。客席幅が約2cm広くなり、大ホールと同じく、これまで以上にゆったり鑑賞できるよう配慮しました。小ホールはパイプオルガンの整音作業のため、5月18日からリニューアルスタートしました。



より素晴らしい音色を感じてください

市民の声

武蔵野らしい魅力ある 催し物にこれからも期待！

武蔵野市民交響楽団
太田麻里さん



私たちの活動拠点であり、表現の場である市民文化会館がリニューアルオープンを迎え、とてもうれしく思っています。新しく生まれ変わった館内は明るく、きれいになりましたね。今までになかったエスカレーターも設置され、便利で優しく快適な施設になったと思います。ホールの音響は、以前にも増して良い響きになったのではないかと感じています。これからも武蔵野らしい魅力的な催し物が開催されることを、一市民として期待しています。



2015年5月、大ホールで開催された武蔵野市民交響楽団の演奏会のリハーサル後の様子

太田さんも利用するという練習室もきれいになり、防音性能がアップ



もっと

環境にやさしく、災害時機能の高い施設に

今回のリニューアルにより、エネルギー利用の効率化によるランニングコスト・電気使用量を削減。太陽熱集熱器の設置および照明のLED化などにより、電力の削減を図ることで、年間電力使用量約16万kWh(約50世帯分の年間電力使用量相当)の削減ができると試算しています。また、ガスにより発電するコージェネレーション設備の導入により、停電時にも館内の一部の範囲ではコンセントや照明の利用を可能としました。災害時には、災害ボランティアセンターとなる施設としての機能を充実させるとともに、避難所となる隣接の第一中学校へも一部電力を供給できます。

屋上に設置された太陽熱集熱器。太陽熱を空調や温水に利用するシステムです。



interview

公益財団法人
武蔵野文化事業団
事業課長
あとお
和田 能さん

武蔵野文化事業団は、武蔵野市民文化会館開館当初より施設の管理運営や事業を担い、現在も指定管理者として館を運営しています。今回の改修では市民の皆さんの声を受け、高齢の方や障害のある方、小さなお子さんのいるご家族など、多くの人にとって使いやすく、快適な施設を目指しました。クラシックコンサートやバレエなど、今後もますます魅力ある催しを企画、開催していきます。

9月9日～18日開催!

第8回 武蔵野市 国際オルガンコンクール

1988(昭和63)年に始まって以来、4年に1度開催されているアジアで唯一の国際オルガンコンクールです。オルガニストの登竜門として国際的な知名度を増し、これまで多くの優秀な演奏家を世に送り出してきました。応募者から提出された音源と映像によるオーディションで選ばれた9カ国15名の出場者が熱戦を繰り広げます。



第7回コンクールの入賞者と審査委員

- 第1次予選
9月9日(土)・10日(日)
- 第2次予選
9月13日(水)・14日(木)
- 本選
9月17日(日)
- 入賞者披露演奏会
9月18日(月・祝)

市民文化会館小ホール チケットは、好評発売中(詳細はP.26 カルチャーガイドへ)

4月16日(日)、 プレイベントを 開催しました

オープンよりもひと足早く、リニューアル・プレオープン・デーとして、シャンデリア・コンサートやパイプオルガン見学会など、子どもから大人まで楽しめるさまざまなイベントを開催しました。これから多くの皆さんの来館をお待ちしています。



栗コーダーカルテット